



Ving の3用法 + @

英文法入門⑱

- 準動詞としての Ving
- 名詞用法
- 形容詞用法
- 副詞用法
- Vingの意味上の主語

準動詞としての Ving



- VingはS以外の文型を持つ
- 全体で**名詞、形容詞、副詞**いずれかの働きをする
- 否定するときは **not Ving の形**

Vingの名詞用法



- 文中で名詞として働く
= 他のVの **S,O,C,前置詞のO** になる
- (「Vすること」と訳すとうまくいくことが多い)

Vingの名詞用法

He is good at baseball.

前 名

He is good at ^{V'}motivating ^{O'}his students.

前 名

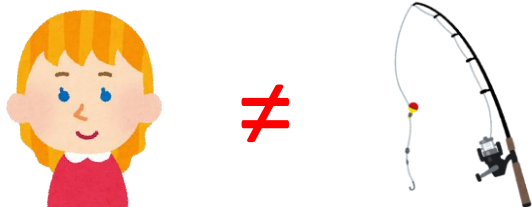
to V の名詞用法と同じく
S,O,Cなど名詞が担う文中の役割にあてはめることができる。
Vingは前置詞のOにもなることができる点が
to V との文法的な相違点。



be + Ving : 進行形との区別

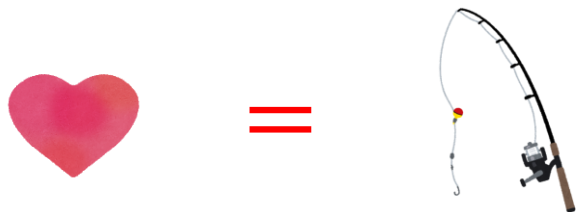
Mary is fishing in the river.

<進行形>



My hobby is fishing in the river.

<SVC>



この形になると進行形と
<SVC>のCに名詞用法のVingが入った形が
見かけでは区別できない。
s=cが成立するかどうか判断しよう。



<SVOC>のCになる

- to V と同様、Vingの意味上のSは、全体のSと一致するが、<SVOC>のCにVingが入ったときは意味上のSはO。
- **Vingは知覚動詞の<SVOC>でCになる。**

I smelled mom baking cookies downstairs.

S V S' V' O'

S V O C



Vingの形容詞用法



- 文中で形容詞として働く
= **名詞にかかる** (or 他のVのCになる)
- (名詞にかかるときは「Vしている名詞」「Vするための名詞」と訳すとうまくいくことが多いが訳で覚えてもあまり役に立たない)
- **1語の場合は前置修飾**
2語以上の場合は後置修飾

英文法スライド⑧
「冠詞と形容詞の基本ルール」
を復習しましょう。

Vingの形容詞用法

Here is the waiting room.

形

「待合室」

There is a girl waiting for someone.

形

「誰かを待っている少女」

「長いものは後ろへ」!

後置修飾の時、Vingがかかる相手はVingから見て主格の名詞です。(つまりVingは必ず完全になる)

前置修飾の場合は、「Vしている名詞」(shooting starとか)以外にも上のwaiting roomの例のように1語のVingが前から主格ではない名詞にかかり「Vするための名詞」という意味になることがあります。

EX.) running shoes, drinking water

※ heating systemのように主格にかかって「Vするための名詞」となるもの普通もある。

もちろん、reading books, cleaning a room など単に Ving名詞用法+O' ということもあります。

Vingの副詞用法=分詞構文



副詞用法は以下の5パターン

- ①時 : When, While
- ②理由 : Because, Since, For
- ③譲歩 : Though, Although
- ④条件 : If
- ⑤付帯状況 : With

意味はばらけているように見えるが「副詞節を作る接続詞が持つ意味」という点で共通。

実際に分詞構文では基本的に節への書き換えが可能。

厳密にこれは「時」用法、あれは「理由」用法と区別して認識されているというよりも、副詞節が持つような接続関係がぼんやりと意識され、文脈によって補って理解されるイメージ

Ving の副詞用法 = 分詞構文

困ったら
「～て」「～して」と読んでみよう

① 時

Hearing his voice, I suddenly remembered my ex.

② 理由

Being so tired, he didn't even change his cloth.

③ 譲歩

Costing time and money, aurora is worth watching.

④ 条件

Seeing him in person, you will come to like him.

⑤ 付帯状況

She took a break, looking outside from the window.



謎にVingがつく表現シリーズ



- なにで**busy**か言うときに付けるヤツ。
I have been busy finishing my report.
- なにに**spend**したのか言うときに付けるヤツ。
He spent more than 1000 hours playing Monster Hunter.
- なんの**difficulty**なのか言うときに付けるヤツ。
We have a difficulty solving the problem.
- なにする**worth**があるのか言うときに付けるヤツ。
The Prado Museum is worth visiting!
- なにが**no use**なのか言うときに付けるヤツ。
It's no use going there.

他にもあった気がするけど...

busy, spend, difficultyの場合は
Vingの前に in が省略されています。

WorthのVingはworthのOと
捉えられるので
worthを前置詞として見る考え方も
あるとか。。。。

Ving の意味上の主語



- 準動詞の意味上を書くとき
: **全体のS** ≠ **準Vの意味上のS**
- Vingの意味上のSの書き方
: **S' Ving**
(Vingの直前に ただ意味上のSになる名詞を置く！)

Ving の意味上の主語

- He teasing me repeatedly, I slapped him in the end.
- Do you mind my (me) smoking here?
- It being Sunday, I spend the whole day on my bed.
- I don't like your making fun of someone serious.

独立分詞構文 : Vingを使った慣用表現。

「全体のS ≠ Vingの意味上のS」のときでもSが書かれない。

Generally speaking (一般的に言って) Considering (～を考慮すると)

Frankly speaking (率直に言って) Judging from (～から判断するに)

Speaking of (～といえば) Weather permitting (天気が良ければ)

To make matters worse (さらに悪いことには)

などなど。これらは丸暗記で大丈夫。